

生涯学習情報

いずみ

中央公民館 TEL 2-1178
 社会教育課 TEL 2-5880

■毎月第4日曜日は(3月28日)は中央公民館の休館日です。

お祝いの言葉



羽幌町長 舟橋 泰博

羽幌町優良青少年顕彰を受賞されました4名の方々、誠におめでとうございます。

学業の傍らでの文化・スポーツでの活躍は、日頃の努力の成果としてご本人も親御さんも大変お慶びのことと存じます。

どうぞこの受賞を糧にもっと高い目標を目指しご努力なさいませう祈っております。

羽幌町教育長 遠藤 武夫

羽幌町優良青少年顕彰を受賞されました皆さま、おめでとうございます。

たゆまぬ挑戦と努力の積み重ねが結実した受賞であり、心からお慶びを申し上げます。

今後も学業とともに文化、スポーツでの活躍を期待いたします。



平成15年度 羽幌町優良青少年顕彰 受賞おめでとうござります

3月4日、中央公民館において顕彰式が行われ、4名の方が表彰されました。



はせがわ いくえ
長谷川 郁英
羽幌高校2年生

平成15年度第2回風車のある風景絵画コンテスト(主催:朝日新聞社)において全国及びアメリカ、オランダ、フランス、インドネシアから出展された3,485点の作品の中から、応募作品「私の帰り道」が中学・高校生の部で準グランプリを受賞されました。



みずみ なつみ
三住 奈津美
羽幌中学校3年生

北海道教育美術展(主催:北海道造形連盟・北海道新聞社)において、平成14・15年度の2年連続して最高賞である奨励賞を受賞。また、平成15年度北海道中学生海の絵画コンクール(主催:日本海事広報協会)で銅賞を受賞し、北海道の代表作品として、全国中学生海の絵画コンクールで銀賞を受賞。さらに、牛やミルクのある風景絵画コンクール、馬の絵作品展などで入選されました。



すがた あやか
菅田 綾香
羽幌中学校3年生

北海道中学生海の絵画コンクール(主催:北海道海事広報協会)において、平成14・15年度の2年連続して最高賞である金賞を受賞し、北海道の代表作品として全国中学生海の絵画コンクールで2年連続して佳作を受賞。また、牛やミルクのある風景絵画コンクール(主催:北海道牛乳普及協会)で平成13・14年度の2年連続して最高賞の北海道知事賞を受賞し、平成15年度は北海道教育長賞を受賞されました。



きもと りょうた
木本 竜太
羽幌小学校2年生

丈夫(まさらお)カップ03においてフルコンタクト空手小学生1・2年生男子の部で優勝の栄に輝きました。また、チャレンジ・ジュニア・カラテ・トーナメント2003で小学2年生男子の部でベスト8に入賞されました。

社会教育通信

平成15年度羽幌町社会教育・PTA研究大会が2月19日中央公民館大ホールにて開催されました。『教育の問題点はどこに～地域は大きな家庭、家庭は小さな地域～』と題し、教育評論家の矢野壽男(やのとしお)氏による講演会が行われました。

～講演内容より～

今世間を騒がせている青少年問題の根源は、親はもちろん今の世の中の状況・環境にある。

今、世界中で取組みつつあるカンガールケア。母子同室。赤ちゃんは、生後20～30分でうっすらと目が見える。産まれて1番先に目にするのは、母のお乳と授乳する母のこのうえなく優しい目である事で、自分が愛される事の心の基礎が出来る。子が1番母に目をかけ、手をかけて欲しい時に手を抜いている。世の中も、どう手抜きをするかと援助する。今の青少年は、親の目や手に飢えている。目や手をかけることで、自己大切像(私は大切な存在)の基盤が出来る。手を抜いてしまうと自己粗末像(私なんか・・・)となってしまう。そのままいい・・・手を抜いて気楽に育児・・・などと言う人もいますが、『もう少し・・・もう少しだけ子どもに目や手をかけてあげてほしい。』教育の原点は、親の愛情とスキンシップそして、家族円満である事が大切。と矢野氏は言う。

子育て真っ最中のお父さん、お母さんや子育て経験のあるお父さん、お母さん。これから父に母になる方々、100名以上が参加し熱心に聞き入り、時には笑い、うなずきながら共感していました。

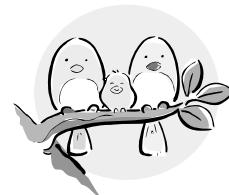
どこの家庭でもありそうなエピソードを身振り手振りを使っての熱演で、身近に感じる事の出来る講演でした。

～講演の感想・育児中の母～

共感できる事の多い講演でした。

今まさに育児真っ最中の母としては、うなずける事、思わず苦笑いしてしまう事など、ちょっと反省しながら聞きました。仕事に家事に育児。「お母さんのみんな、疲れますよね～」思わず旦那や、子どもに大きな声を上げてしまう・・・ちょっと一人にして～って思う事ありますよね。でも、本当に一人になると我が子のことが気になって、そわそわ仕出したりして・・・。イライラしてカーっとなった時、「ママがいなきゃだめ、ママじゃなくちゃだめ、ママ、ママ・・・の時期なんてすぐ終わってしまうよ。そのうち友達と一緒にの方が楽しくなって、ママなんてかまってもらえなくなるさっ。」という経験者の言葉を思い出し、それもさみしいかな? 「今のママ、ママ期」を大事にしようかな? ..とったりします。

家庭円満が大事、うまくほめる事が大事、もう少しだけ親が我慢して子どもに手をかける事が大事。講演が終わり家にもどり、ちょっと旦那と子どもに優しくしたりして・・・。「もう少しだけ頑張ろうかな」という気になる講演でした。



♥ 青少年に関する情報、ご意見などがありましたら社会教育課(☎2-5880)へご連絡下さい。

♥ 子どもの遊び場として公民館の空き室を開放いたしますので利用したい方は社会教育課へご連絡下さい。